

規格外品の生花をドライフラワーとして有効活用

【令和3年度補正】

ロスフラワーをドライフラワーへ（規格外品を有効活用した事例）

中山間地域所得確保推進事業

地区概要

【地区名】 野尻地区（熊本県高森町）

【現況】

- ・新型コロナウイルスの感染拡大により、卒業式などの各種イベントが減少したことにより生花の需要が激減。
- ・本地区でも低所得化が進んでおり、今後花き加工品（ドライフラワー等）を含めた販路拡大が必要。

①マーケティング調査の実施

消費者・花屋等のドライフラワーに関する志向（色味や購入希望額）を調査



①マーケット調査の様子

②ドライフラワー製品の開発

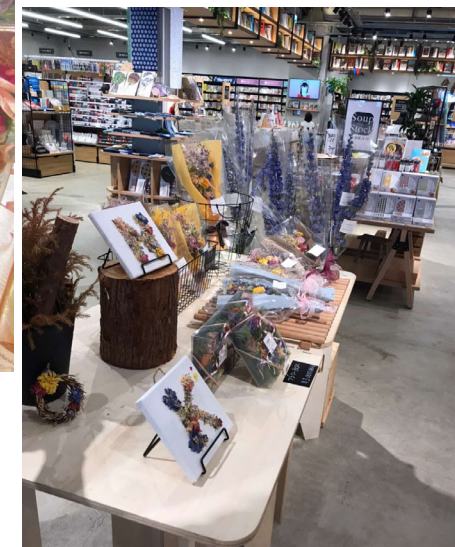
花きの生産過程で生育不良等で規格外として廃棄される生花（ロスフラワー）をドライフラワーとして加工



②開発されたドライフラワー

③マルシェ等への出店

県外を含むマルシェに出店し、販路拡大に取り組むことにより販売額が向上



③マルシェへの出品状況

取組の成果

令和5年度のドライフラワーの販売額は2,717千円となっており、現況値の17千円から販売額が大幅に増加（270万円増）している。

現況値(R3)	目標値(R5)	実績値(R5)
17千円	638千円	2,717千円